

2023年  
7月

# 県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、着実に回復しつつある。**

●2023年7月 おきぎん「カトレア」景況図●



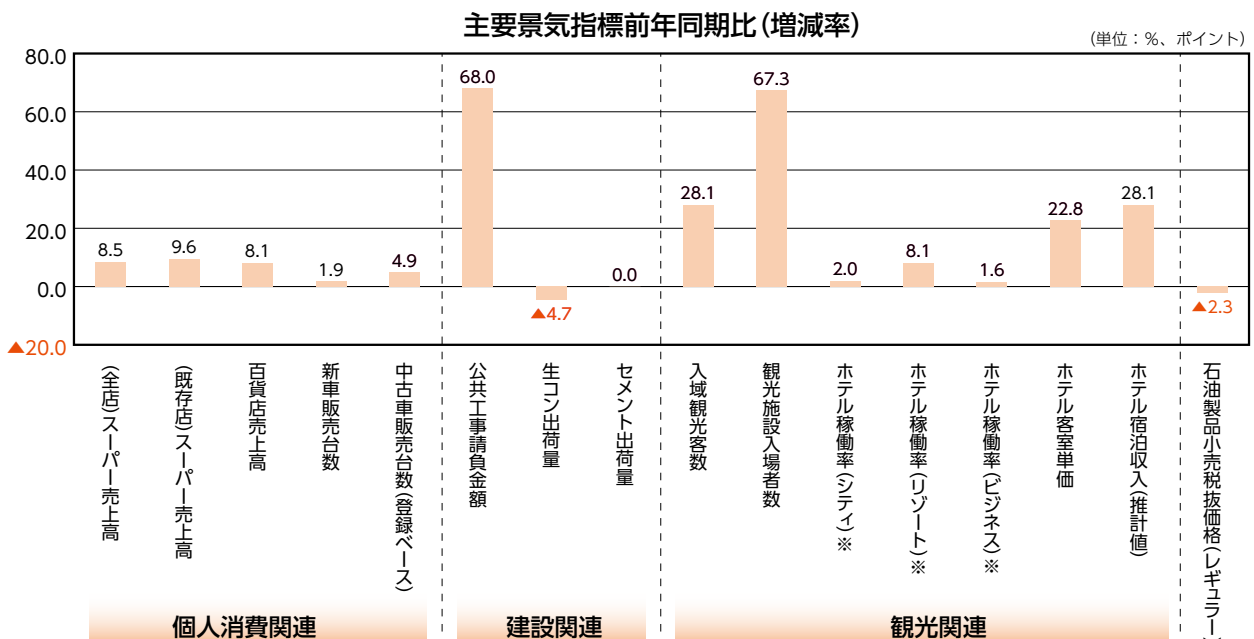
7月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数共に前年同月上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は前年同月上回りました。建設資材である生コンは前年同月を下回り、セメントは同水準となりました。

**観光関連**では、入域観光客数は前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入（推計値）においても前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。よって、「**県内景況は、着実に回復しつつある**」と景気判断を据え置きました。

(2023年3月の上方修正から5か月連続で判断維持)





## 個人消費



(やや良い)

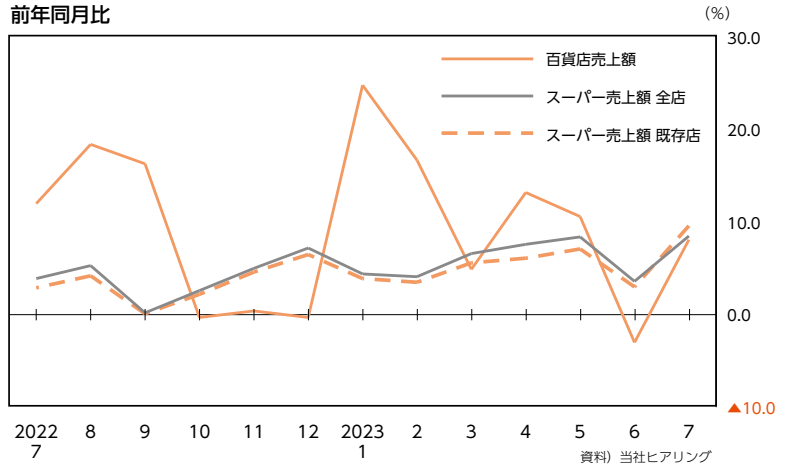
### ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

7月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比8.5%増)」は、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同8.2%増)」は来客数の増加、物価高による単価の上昇や月末の台風前の買いだめ需要などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同9.9%増)」や、家電を含む「家庭用品(同7.5%増)」は人流増加の影響などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同9.6%増)」は、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同9.4%増)」は来客数の増加や物価上昇の影響、天候要因などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同11.4%増)」、「家庭用品(同9.9%増)」は来客数の増加や季節商品の好調などにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、15.8%増となりました。

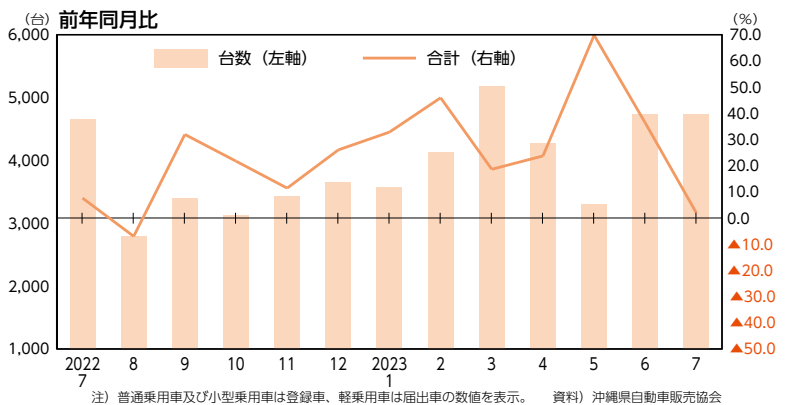
百貨店売上高は、台風の影響による商品の入荷遅れ等があったものの人流増加に伴う来店客数の増加や季節商材の好調等により前年同月を上回りました(同8.1%増)。品目別では、「衣料品(同9.5%増)」、「身廻品(同6.2%増)」は、インバウンド含む観光客による売り上げが好調となり前年同月を上回りました。「食料品(同7.8%増)」はお中元関連商品の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



### ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で4,731台(同1.9%増)となり、11ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同67.7%増)」、「軽乗用車(同3.5%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカー需要の増加などにより前年同月を上回りました。

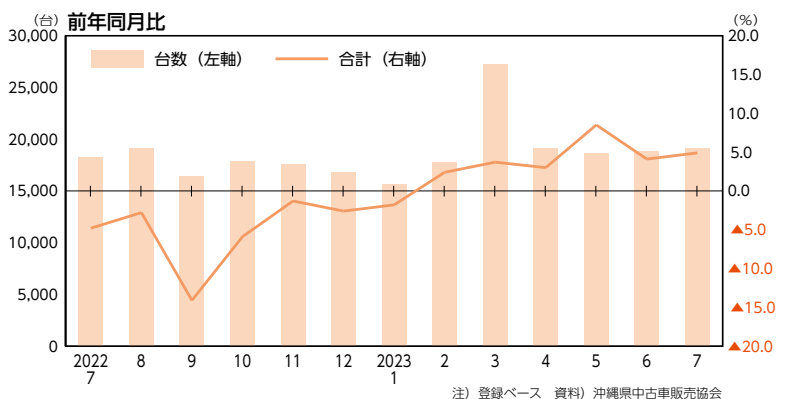
(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で19.0%減となりました。車種別では、普通乗用車63.8%増、小型乗用車31.5%減、軽乗用車35.2%減となっています。



### ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

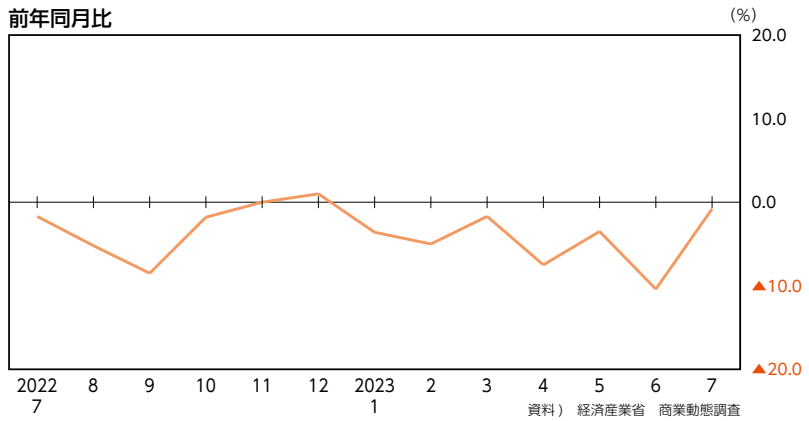
中古車販売台数(登録ベース)は、全体で19,132台(同4.9%増)となり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同6.3%増)」、「軽自動車(同4.0%増)」は中古車価格相場の落ち着きなどにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で9.1%減となり、車種別では乗用車8.5%減、軽自動車9.5%減となりました。



#### ④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。

7月の**大型家電専門店販売額**は前年同月を下回りました。



### 建設関連

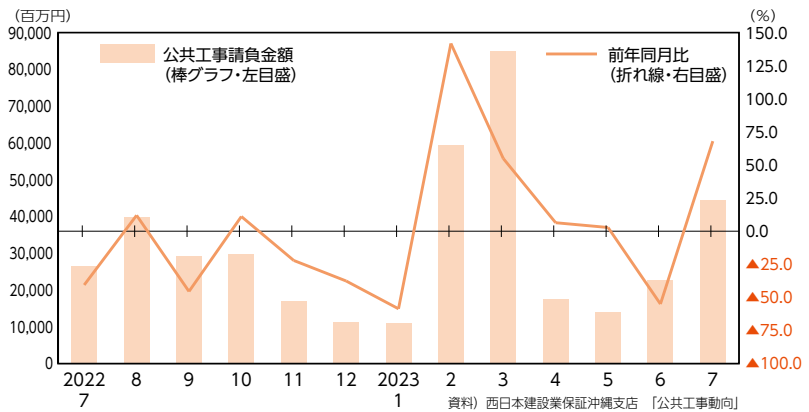


(ふつう)

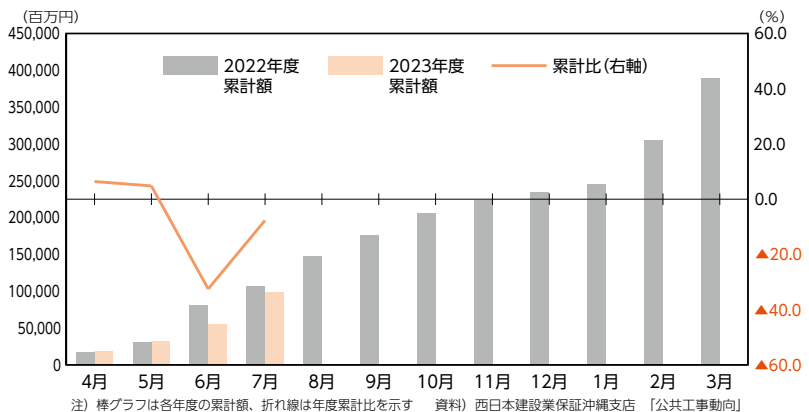
#### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

7月の**公共工事請負金額**は、前年同月比68.0%増の443億5,300万円となりました(2ヵ月ぶりに増)。

発注者別でみると、「独立行政法人等(同30.1倍)」、「沖縄県(同47.9%増)」、「その他の公共的団体(133.0%増)」、「市町村(同0.5%増)」は前年同月を上回りました。一方、「国(同20.4%減)」は前年同月を下回りました。



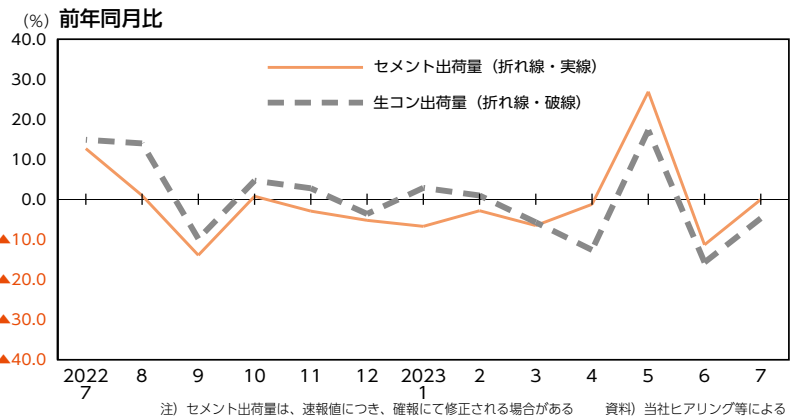
#### 【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。





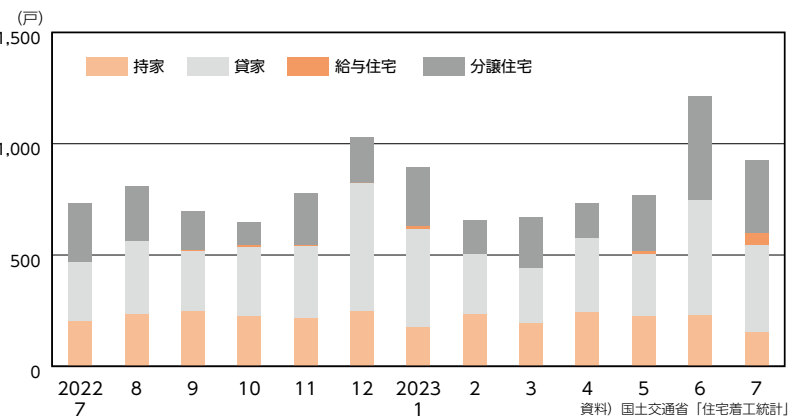
## ② 建設資材…生コンは前年同月を下回り、セメントは同水準。

建設資材関連では、生コンの出荷量は4.7%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは石垣、北部での出荷が減少したことなどから前年同月を5.3%下回り、民間工事向けは中南部での出荷が減少したことなどから前年同月を4.3%下回りました。セメント出荷量は前年同月と同水準となりました。



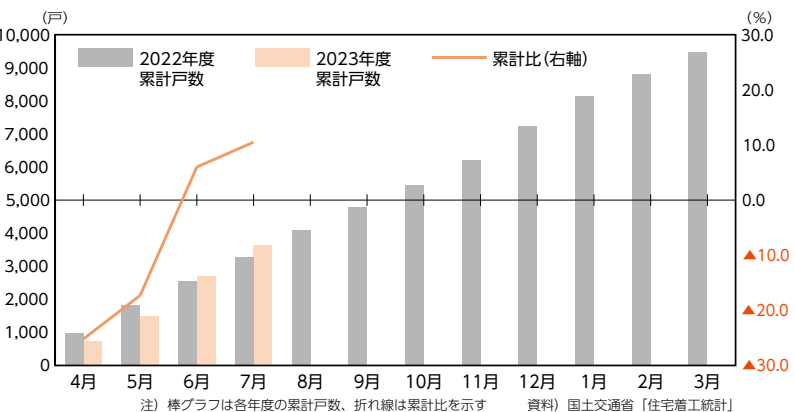
## ③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比26.4%増の924戸となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅 (同24.6%増)」、「貸家 (同48.3%増)」、「給与住宅 (同50倍)」は前年同月を上回りました。一方、「持家 (同23.6%減)」は前年同月を下回りました。



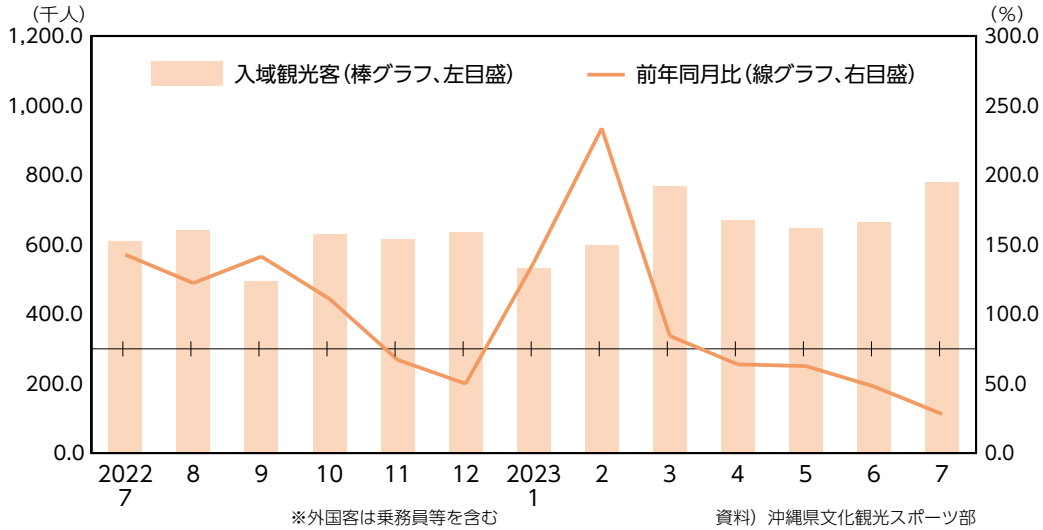
### 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

今年度累計値では、10.5%増となっています。

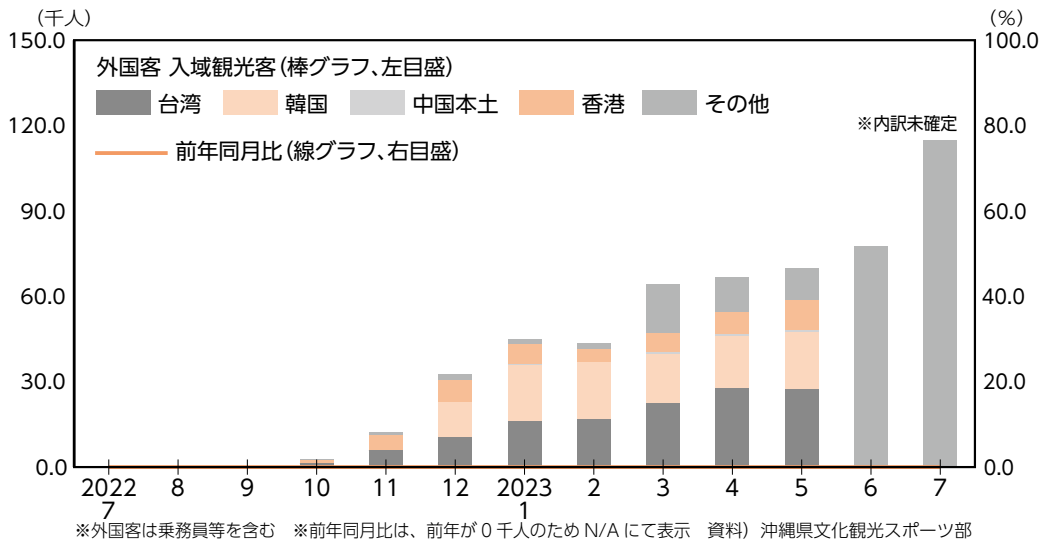




① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…114,900人となる。



7月の入域観光客数は、全国旅行支援の影響や需要増加に伴う航空会社の増便・臨時便・季節便運航などから、170,700人多い778,500人(前年同月比28.1%増)となり、20ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、185,100人減少(19.2%減)と下回っています。

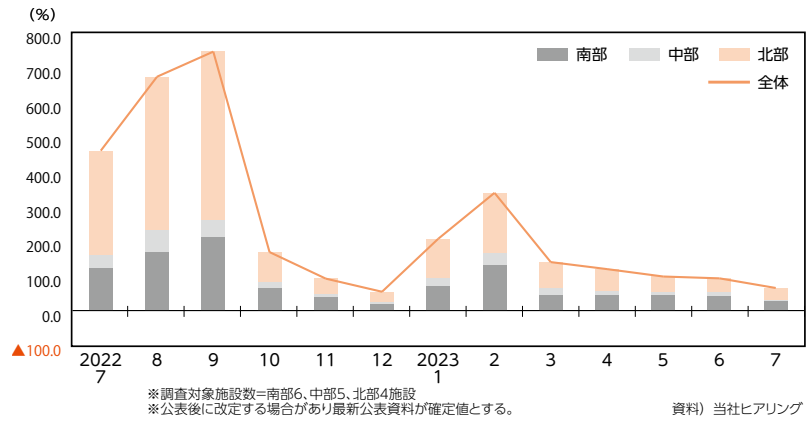
2019年同月比(国内客)では、2,800人増加(0.4%増)となっています。

外国客入域観光客数は、クルーズ船の寄港もあり114,900人となりました(空路80,000人、海路34,900人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。



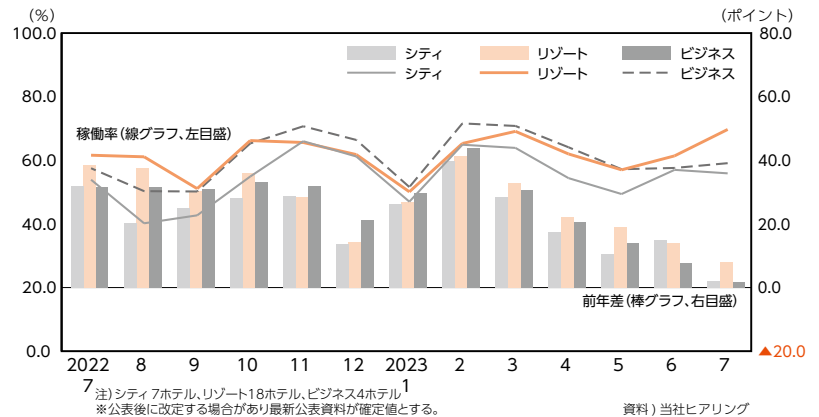
## ② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

7月の観光施設入場者数は、全国旅行支援の継続による国内観光客の増加などから、全体では67.3%増となり16ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は53.1%増、南部は105.0%増、中部は54.0%増となりました。(参考)2019年同月比では、団体客や外国人観光客の減少などから、全体で34.2%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は27.3%減少、南部は41.0%の減少、中部は48.0%の減少となっています。



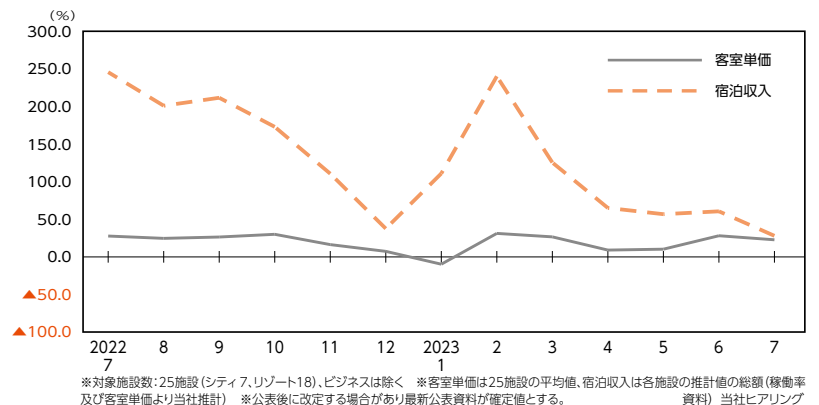
## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比2.0ポイント増加、リゾートホテルは8.1ポイント増加、ビジネスホテルは1.6ポイント増加しました。全国旅行支援の継続や団体旅行が回復しつつあることなどから、前年同月を上回りました。一方、月末に発生した台風6号の影響により稼働率低下もありました。(参考)2019年同月比では、シティホテルは22.3ポイントの減少、リゾートホテルは12.2ポイントの減少、ビジネスホテルは22.7ポイントの減少となっています。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は22.8%増と6ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においては28.1%増と20ヵ月連続で前年同月を上回りました。(参考)2019年同月比では、客室単価は8.4%の増加、客室収入は9.3%の減少となっています。





企業倒産

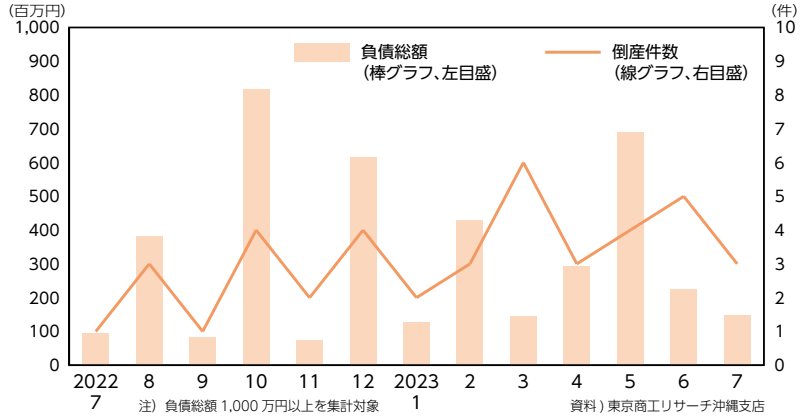


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

7月の企業倒産件数は3件（うち大口倒産は発生なし）となり、前年同月より200.0%上回りました。

負債総額は1億4,700万円となり、前年同月より56.4%上回りました。



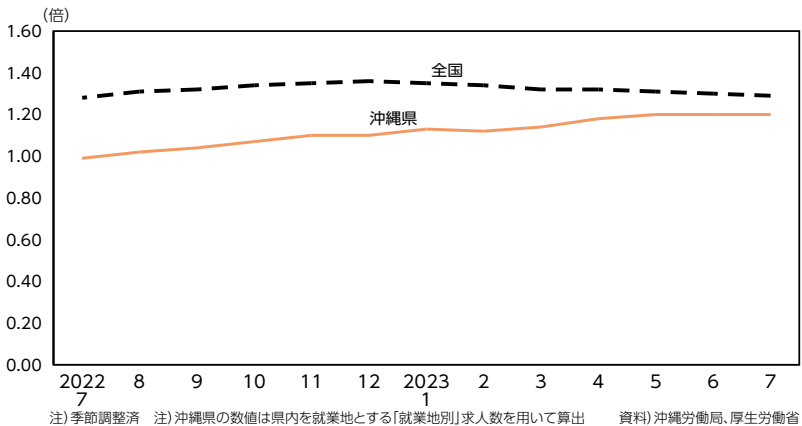
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄は前月と同水準、全国は低下。

7月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比1.5%増の34,862人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.9%増の28,960人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.20倍と、前月と同水準となりました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

7月の完全失業率（季節調整値）は、2.5%となり前月より0.5ポイント低下しました。

